

1. 本園の教育目標

教育目標 目指す子ども像	「あそぼう まなぼう いきいきと」 ・心身ともに健康で、明るく元気な子ども ・元気にあいさつする子ども ・人の話を聞き、自分の思いを話せる子ども ・豊かに表現できる子ども	・相手を思いやる子ども ・よく考える子ども ・あきらめないで挑戦する子ども
-----------------	---	---

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 研究主題「あそぼう まなぼう いきいきと」～子どもの育ちと学びをつなぐ～を掲げ、幼児の実態に合わせた一人一人に寄り添う保育をするために、職員間で話し合い共有理解をしながら取り組む。
- 園児が、伸び伸びと自己発揮しながら遊べる環境づくりに努める。
- 「やってみたい」を引き出す環境構成や援助の在り方を探る。
- 日々の遊びを写真と言葉でまとめたドキュメンテーション作成を継続して行う。

3. 評価項目・評価・取組と達成状況

評価項目	評価	取組と達成状況
(1)教育目標・指導指針	A	・園の教育目標「あそぼう まなぼう いきいきと」について、4月初めに全職員で研修を行い、付箋を使ってまとめたものを模造紙に貼り、共通理解を図ることで同じ方向で園児を育てることができるよう確認し、進めてきた。年度末には、今年度の評価と来年度の課題について話し合い次年度に引き継ぐようにした。 ・園の教育目標や指導方針を達成するために、幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿を保育の中に常に意識し取組を進めた。保育ドキュメンテーション作成し、保護者へ発信することで保育への理解と安心感につながっている。
(2)保育の在り方・幼児への対応	A	・職員が連携し、幼児一人一人を様々な角度から見ること、内面理解に努め保育を進めている。見えてきた課題について、その都度話し合いながら進めてきた。また、振り返りを行い成果と課題を明確にしていくことで一人一人の課題や困り感に寄り添った保育をする努力をしていきたい。 ・基本的な生活習慣面（挨拶、返事、片付け等）については、毎日の挨拶指導に加え、積極的な挨拶、園児による挨拶運動「おはようマン」も継続できた。
(3)保護者対応・地域との連携	B	・幼児一人一人に愛情をもって接し、全職員でチームとなりながら保育や行事に取り組み保護者の方との対話を大切にしてきた。保護者の方が安心して子どもを園に預けていただけのように、これからも丁寧な対応をしていきたい。 ・昨年度に引き続き地域のおひさまプロジェクトチームの協力をいただき、PTA役員と共に話し合い、行事に参画していただくなど、地域のみんなで園の子どもを育てる連携したつながりをもつことができた。園はその皆様の温かい協力体制に感謝しながら、より一層励んでいきたい。
(4)環境整備・安全確保	B	・大切な子どもたちの命を園で預かる上で安全で安心した環境整備の徹底をしてきた。施設や遊具の点検は、様々な遊具や園庭・園舎の死角、幼児の目線に立った安全を心掛け、定期的実施した。 ・一か月に1回避難訓練を実施しているが、さらに職員自身が危機管理意識を高め、あらゆる場を想定して指導にあたり、幼児自らが危険予測の能力や危機回避の力を身に付けられるように実践的な指導を行えるようにしていきたい。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・取り組むべき目標や課題について職員で共通理解を深めることができた。また、幼児の育ちや保育のあり方について、職員一人一人が、自己点検・自己評価しながら、課題を見つけ取り組んできた。「あそぼう まなぼう いきいきと」～子どもの育ちと学びをつなぐ～と研究主題を設定し、取り組む中である程度の成果は得られたが、今後も継続して実施することで、環境づくりや子どもの育ちと学びをつなぐための指導力向上に努めたい。
- ・遊びや様々な活動の中で、子どもたちの成長が見られ、地域・保護者からの一定の評価を得ることもできた。保護者・地域の方々は、本園の取組に期待をもち、協力的である。今後も更に、保護者の思いに寄り添えるようにアンケートをとったり相談を行ったり、園の様子をタイムリーに掲示板を活用し知らせるなど、地域にも発信し、地域・関係機関との連携を密に地域にとともにある幼稚園を目指して、取り組んでいきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
保育内容の充実	・季節や子どもの発達に即した環境構成の工夫 ・遊びの充実・遊びの時間の確保
教員の資質向上	・園内研修の充実（市指定公開保育） ・ドキュメンテーション作成を継続する
地域との連携	・園児たちが地域で、活躍する場を検討する（自治会館など）

6. 学校関係者評価委員会からの意見と今後の改善について

- 学校関係者評価委員会を年4回実施し、園経営について理解していただいた。保育の様子を見ていただき意見交流をしながら総合的に評価していただいた。評価委員の方からは、「園児たちの笑顔を見ているだけで楽しく過ごしていることが分かって嬉しい」「年少・年中・年長それぞれ個々の個性がある中、グループ活動では、みんな一緒にチームワークよく頑張っている姿が素晴らしい」「毎回幼稚園に来ることが楽しみの一年だった」「子どもたちが健やかに育っているのがよいと思う。元気をもらった」など幼児の育ちを実感していただき、園運営についても高評価をいただいた。
- 園での活動の様子が保護者や地域の方に更に伝わるように、どのような方法でできるか等、今後も研究を深めながら取り組んでいきたい。
- 今後も魅力あるまた、特色のある園づくりを推進するため、職員の共通理解と資質向上を目指し、地域に愛される旭ヶ丘幼稚園として努力していきたい。